か、義勇兵に属するか或は國民政府の顧問として任命されてゐるも

中の建物を蝦夷文は響き排った上三甲する意向といはれる。一方最近の空中戦ではソヴェート人飛行士が活躍してゐることを確認。爾の諸葉に配金され文第第の作戦は日本非が清京に近づくや橋梁を蝦夷するらしく目下多数の軍隊を襲長して戦権中である。また変無罪が清京を支へ切れぬ場合には市 支那側要人は三日ニューヨーク• タイムス特派員に對し次の 《語つた『日本軍との空中戰で落ちた々那機一台

一名のングエート人飛行士が乗つてゐた右兩名とも重傷を負うたり

蘇聯飛行家多數南京に在り

秘火を加へずして陰順させる方動。申由で日本軍の指編によって明瞭は恐い者として経確に對し努めて「軍に來り殺七千の兵と共に闘順を

界状態は極めて平磁に聞せり

我要求を是認せるため三日夜の種 した不能事件は工部局が全面的に

御を歌いせり又飛行場を撮影し地村一時間に亘り交戦をなし歐機八

節石井東次郎子は一日午後六時ペ ネチア宮にムツソリーニ首相を助 門、重要意見の交換をとげた、石

ム首相 ご會談

観民衆を再び職火の巷に置く一た某有力部隊代表は趣解にある我

|石家莊三日同盟|| 我軍は河北省 | 南方二十里|| を中心に緒居してる | 場時競表 || 共同継界環境路に喪生

明朗河北建設を誓ふ

物源員は三日南東市の内外を一巡して見たが到るところに航機が張り続いさればリケートを構築して物々しい光景を呈し合地から滑添された新地東隊は彼々南京四

南京防禦に死物狂の狀態

【上海四日同盟】上海軍四日午前零時發表||丹陽縣城を占領したわが部隊は更に金壇

南京最後の防禦線である鎭江、

重慶をも壓する概

既に漢口、重慶を壓す

線を突破するのも目前に迫り、皇軍の意氣は旣に長驅漢口、

日本軍が近づけば

直ちに橋梁を爆破

皇軍の意氣ますく

、揚り

示最後の防禦線

一般目別に迫る

単の陣形は遠に成つた が調を占領、直ちに何容に向け 記した、かくて光路、

(iii) (ii)

觀台鎭炭坑占領

開者を置くことの不利なるに基く

で観立関係にあるので

ti

前線に石炭補給容易

値段ニ於ラ 先が他品ト御比較ヲ品質ニ於ラ

奉

京師範大學教授河政和氏外五名の

揃

鼠茶彩黑

00000 4=7=0

した支那側文化使節ル

語學語香油の森田瑶湖一部

今後の措置は一切工部局に一任

冬の生を製はせ『天泉陸下高版』 内され宮城前に逃ぎ遊み切つた初

配を襲した

市民主張が行はれた。しか

首顛部隊が冬空を置いて京道場 に孫親を加へた、北支方面では

租累において大行連を行ったが 新進公司事件わが取り

【ブラッセル三日同盟】元ベルギ

元白國首相逝去

オ

鼠茶紺黑

八三九四〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

するはず

たほ一行は午後帰國

B相王立前林院副順起プロスペ

ダブル(兩前)ハ 五

步

堌

Ë

黑

==---\=\\=\\=\\ 000000

正した 子群は三日プラツセル

對日惡化を恐れ 英、武器輸送を制限

成都に建設中の

【天津四日發本社特電】の虚禁を吸る那介石は最近歌歌政 不能と見られてみるが、是加抵抗し、あり、一方四川省成都に建設中の経攻にあつて支那型軍は、再起しその一部は外戮を經由空輸されつ わが男猪果敢なる選、温管電像線。府より新鉄機多數を購入し、既にしれた國族機能事件は他人態強の結

七千の兵と共に

敵の有力部隊長歸順

上海の皇軍行進途上

一月卅日附各迎) 《代·1·万三日的》

製

岩水

鼠茶組

四、八〇 三人の

五、八〇

人

【上海四日同盟】上海軍四日年前一は之を一兩日中に裁判に防する第一日軍権に對して一外人が保険を

急軍の租 界内

[香港四日同盟] 廣東省政中主席

廣東政府主席更迭

としてエチオピア總督に任命され ア公大將に 「ローマ三

一会は三百空電大時に

社群令

秀吉

衿

紨 M

00,4

1二、五〇

ハ、ハロ

聂 刘小 上野 淺古

避難民地區の準備を急ぎ既に をかけて居るもののその徴現は

民(長津河水北平緯水)同上民(同土木部長)同上

鱪

服

色防國

五、五〇〇五、八〇〇一八八〇〇 三八〇 経動挨拶のため四日本代氏(船谷江水電事務的 ビルに移轉接拶のため 茂(

朝経江水電常務)

スポン

鼠茶紺黑

英四三

地立黃 知つとるのか 體日本とドイッとはど にドイツ訓停栗田気が

手紙はがきニテ成可ク明細ニ正確オル身長ト正味體重必要 代金引替 送料ノミ買主持

鼠茶紺黑

10.00

均一

一着分

調停も伸展も未だ早過 りか今喧嘩が始まつた 不向品へ 責任ヲ以テ品替御自由取,引 ハ 代金引替 送料ノミ買

勝利ばかりは大に親はずばなる で新年製みは膨止しても、この 南京路落目順に迫る。 高年會

(洋服業者へ)

女奥の死を表版するに - ト女史の遺雛をいる 注 文 品 加工ニ如何ナル御相談ニモ應式形 紙 一種目一圓ニテ肉筆原圖送附附 屬 品 如何程ニラモ反替値ニラ提供ス表 地 見本値ヨリニ割以上安提供ス 神戸洋裝ハ東洋一流行根源地洋服ノ貿先ハ先ゾ神戸仕立品ヲ

関ロデル正義に組す

この時間に三つ見っこれも報

企畫院審議會

公行道が南京路にさしかかつた(部) ラード氏と含見の結果次の如き優 大衆が皇軍大部隊の部界内示唆して現場に於て工部局警部總監を「上海三日同盟」三日上海で行は「大佐が松井上海軍司令官の代理と

來週早々設置か

東京電話」政府は現下の戦時間」を経て設置 員分等を融合する態度をとり各方に今艘眺止される臨時物質對策委 員を駆め平、職時における持合國面の極處を網羅して約三十名の委 標識會議、資源審議會正理されるものと見られて 用に関する重要案件の

STEPPE 伊黎四日市市 • 加藤翠松堂

京城不動産株式會社

| 一、土地家屋ノ代理管理ニ、不助産業・一、土地家屋ノ代理管理ニ、不助産ノ分譲・四、一二番地原域附及谷川町ニーニ番地原域所及谷川町ニーニ番地原は一、大地家屋ノ代理管理ニ、不助産

間に鑑みその取扱を問 科營目業 抗日再建に狂奔

遠障事就日人民職総部の互頭セーを以て人民職総部の抗日運動展察 | 三五十三六年中のજ人業者に一切上海四日河芝」 比鈞能 第乃部 | 三ヶ所に移り香港、 廣東及び漢日 | 非常な膨脹となつてをり飛に一九

促めぬ等、掘田低の色彩館厚であ

根據地を香港、廣東

ソ聯関国が動かり場合は蔣

あり打械く敗戦に動揺する一般民 動再処の猛災動を起さんとしつい 地として中南支民衆を以て抗日運

装甲列車にて順機の河南省自治政 〇部隊長は三日午前九時磁脈整要

勢力範囲になったので今後は燃料

海、商工遊暨

ついて我回答督促

河南省主席と會談

日貨の大排斥案

八頁朝刊八頁 物ノ前先ッ弊社へ年中 御紹介シテ下サイ其他何品ニョラズ取揃へ居り、 他デ御買

先月だけで七萬六千三百圓

リる日本の態度や日、種、伊の明。

下限の煙草二萬四千個を初品の主なものは李王紀下御印塑以來十一月ま配の殷間

その他六十七萬六千六百七十

父、州知事、市長、職員

路識を疑調し、さらに半島人 とクリスチャンの立場を監

なるは支那赤化陰謀の必然的危利なか。更に又重大にして危強利なか。更に又重大にして危強に支荊羽撃は勃發した(中略)は

點等

層になって来た折擦、直域附此 配給成に第三國の中にも聞く正

愛する神の使として『欧米の親

柿十五貫九百六十名、同チ本、酒四十九石八斗四升眞サイダー三鷹七千三百廿八

たいもんだな」といふ、然しそんな 会(明日)同じ 信服]同じ 情悪」[明日]同じ

滑れるぞ!

けふ清凉里にて

は支那軍が数萬入り込んであたら | 中計を異へる、『踏々踏々』と大 |

ものもない之等の子達に幾つた飯 び寄って来る、兵隊さん遠は食ふ

大日本楡次縣

|五六銭の子供は兵隊さんの島に飛 |の有様だ、私は帳にまかせて極大 | る、そして一番底を横にくり食い

徐次にて 本社特派員 松田

定久

い、そうだらう、との家もし

と日の丸の縦に掛いてあるのもあ て日の丸の概を造って掛げてある 白いのは白布に赤い丸をはりつけ の娘内外を迎接して題つたが、面

世尺以上も深まって、我見意識の世尺以上も深まって、我見意識の避難穴が田来である、穴の腹に約

のだ、「もう三ヶ月から新聞を讃

池田の甘栗

つを一杯だけでよい、グーと飲み

を怖れた避難大なのだ、赤背小學であるのは、皆日本空軍の空襲

てゐる。い中ニュースとなると今

術次に來てやつと何處からか順ぎ

左黨廻れ右

や京城です。今京城はどう ですか

見合寫真は **本**真は り、五日午前十時至づ町民一 鮮神宮に参邦武温長久祈願を

東賓系映畵を

朝鮮から区で

五社側が對策決議

ろにはとしく配給してゆ

あくまでも

對抗する

图成社歷動 一と先づ解決

絶對に廢止せよ

年末年始の贈答季節を前に

政務總監から通牒

各銀行でも 施設値兵方面に掘すべく目下

年質狀態止の整体各方面に貼つて 年賀狀廢止 木曜會中合せ 【東京支配特置】北安文化教育使 | 帝大法愿部东门追市助教授他二名

視察團派遣

文部省の人選終る

アウト」の強硬快職を映講師

者につき東領映器朝鮮配給所長種

東實配給所長談

内の各計部給所は内地学社の指しなってみたが鐵路繁で展開の結果果実践機関排離は内地の延長で難し、翌年子です。資金和で品差と

つて表面化され、個路標の話題と

は解棄組の機構内容が非貨と到り

男状明像者が引受くる事として】同社の質認権は此支柱部以氏の長

京都带大文學的沒小品品展教授他

あろが、府内の銀行でも取引先に 一行は三日夜橋大た歌迎禅に東

射する今年の単数版は際止すると とに決定二日の木曜合で申合せを

西洋文化模仿5就育方針を根本的 六日出途四週间の豫定で北京を中層は近瀬道に改ける立基を載べ、日祝經の六氏が進ばれた、一行は「田女」名、九州市大法女斯部匯子本員、京郎指で入京した、一行は『日女

談談の勝目用登氏、本合款資料学ること、なり、普通場務局部

鐵道局銃後の申合せ

公佐を出來らる限り買入れること。從つて質與による職時僅買入れを

に使用するため、一月破異の戦時一条局員にものび二萬七千の局員は

電気を受ける

教育指導原理を現實の北支から獲し数近スター引致で顕すかに話題

心に親格し明卵北支を埼ふ新なる

歐米の親友に告ぐ。 映画を締出さらとしてゐるが、

いな前が地方主要都市に北部は「先づ落澄く事となつた、米経峡湖と洋路でやつてゆくと」
夏末申伯差の夏多くそ

あす白衣の勇士

垣城で名響の負傷をした小科 | 來から跳道にも異種、四日年

各列車遲延

全世界に呼びかく 件があらゆる盤事が惹起される一件があらゆる盤が別、朝鮮には韓國革命管時の一部が別、朝鮮には韓國革命管時の一部が別、朝鮮には韓國革命管時の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の

四十七名京城 直に陸軍病院に入る

京城府社稷町監理教會牧師が

既得兵士は五日午前十時中京城郡 | 時五十五分の長地江水電社員引起 野木部原松下少尉ほか四十四名の一項は一時間三分、成興駿京城沿八 地際矢野少尉、森本部隊権村少尉 一時七分京城帝の海世域最五〇六列 **到着、加山県軍病院に入る**

用で運運し、ダイヤは低能した。 しの随時列車は五十六分いつれも 鴨綠江結氷

墨校生徒李録の「と」は四日午前一

光下十一度四といふ金融で吸波跳「を水し燃料で歩山上池に近金に給「裾世百数らしい

店員の襟章にもお景物にも 鈗後の熱意を反映 が加山公政日用品市技帯成

時局色の大賣出

金をやって商人の尻を叩き、更に一郎つて前哨戦の火盗を辿った、 一日今晩のラギオ 四日午後一時から落成式を集

位で全連さずために修道部隊は裏 一到る魔の重要建物が特別はれて ことをつくし 感じる 私達が事

る。それだけに此處に眺望には

と執行で作録を登いである、休登

み、戦時風呂をたてゝのびきつ自の兵隊さんも、全く無聊に苦

西滯在

間

た間の手入れをしたり、関南につ との便りも良郷を出てからはパタ しさなのだ。 リと輝えた、文字から造ざかつた しい親特ちも止むを得ない、内地 全市の野宝北一大阪かんは 天氣豫報(5世)

出版市北の西乃を北

京成天然町一二〇ノ二三京城関係 園藝生が自殺 余南大成島を競し権老島に向け 林兼所有の六號新成及一六ト は鉱地はれてゐる は同肚所有の承油メンク船三重 (1111トン) を曳続して出る

倫偶院園説郎原時氏なかれて病句 **規府樂園町の自宅で逝去** れてゐる、倘告別式は七月に

||陰|||少に京城商工組合聯合各では加盟|||外景品引換所|||||ケ所に八十国の軸||・釜。京元、京韓、京城の各沿線停||にも時間を認識して、即ち商家報

| 注意時に商人が締ぐあがつては商「商店を脊髄して」日から銭末大翼| 助と眼刷代その他に五子観の補助| 直揚や金融銀合に

出しに入ったが、景品代一萬面に





米し人の米上流行が可能となった。一に登って人の米上流形が可能の基本し人の米上流行が可能となった。一に登って人の米上流形が可能の基 戦利品展終る

カルピス

新龍山三角地 (八院隨意

原産婦人科

(電話竜山)の三五番

資報として三日を以て十 日間 人場者十三萬四千五百人

既に一定し、手をひかれて買物 例年店が出してゐる坊もやん、

> | 別町二ノ三六 東京證券官社

Para . エキ

〇足人・ニトロル 定領「脳子鏡」の第一人・ニトロル 定領「脳子鏡」の女子に社会でも人を観りる

ででは、 ででは、

官獎人來

三重丸遭難 乘組員氣遣はる

一枚一円六十五銭

朝鮮專賣局製造

O W * O

原文傷の場合で、一般のでは、一般ので

^- ダーダーフェライン フェライン

章一。いなはて歌た 心の士勇線前句一 ノ譜熱たつ歌を情 K_36_97E

社會式株券證業御本日 店支城京 日丁一通門大南府城京 田丁一通門大南府城京 田口工,城京高城田四五〇四周本誌電

陸地測量部發行 日外がんでの量す 朝鮮總督府測圖 企業には地域を利用せよ

+

五方分一地圖大賣捌所五方分一地圖大賣捌所

學習に大切な一頭の樂人

内地輸送明五日限り

|◆昭和十三年度日記賣出し…= 寒用 毛皮賣出し……

年用盆栽 陳列會:: 體表表

健氣な勇者の妻

戦地の夫には死を秘して下さい

悲壯な遺言と愛見を殘して

金銭し府民の組大なる職人愛に慰使の日立ちわるく病味にある妻と

上海技が見舞った原自ら化粧の近一位、展多技技の挑議を生んである。の電大なるとを翻訳した。 とれながり (位しを) がいたことを着り、常たに砂帆水 が続ばい。日午後四時道時寺で川 六回に十九度を國際配金として第一大のことをを選出して原理して、

こして第一ので島山忠南野経郡長を経て三日

近く飲納式を築行するはずである 大田憲兵分隊に戦納手順ぎをなし 歴はしからず表る十一月廿九日川 たこれを輝くさいた府民は続く同 能の時段懇談座戦者で初めて時間、結果高別・胸壁一路と野殿電路横つあるが、その後伊都子夫入の府城1 格り一日午後四時安らかに他来し「勝両県前里々民は数日前穂高県王」―三千五百四に建したので鄭覊の「

府民の情に謝しつ、

親も及ばぬ愛攜の手に成立して「と言ひ疑して程態急報伝館販鑑に」終つた「ない姿に参列者」同は同情の源を制を指して失奏に引き取られ」
ちか死後軍販単上注て下さい。「ない姿に参列者」同は同情の源を

旅後間もなく道立燈院に入院し宅の夫人伊都子さん。これは失の 飲ぎをなしつゝあるが、一方留

死の無流

てふる、これら隣督生は四日限り

長を勤めてゐた秀才であった

醫樂組合員

全鮮に魁け軍事教練を實施

平北に描く時局模様

上時間 押し送され、賈 山方魚球、い生計を暫んであるみでありたが、 対合に差しかゝつたは、蔚 山方魚球、い生計を暫んであるみでありたが イー接

經に陥り、航行不能となって前後

【肝山】盲目で按摩をしてかほこ

接摩の赤誠

財内牧の島中村力太郎氏所有の第

英霊哀しき凱旋

見送り府民團體穀到して

滋飲所有の砂利運搬船職成丸は二 に喰ることとなつた。 門流物語り→府内板の島瀛仙町邮 までに北支第一線に活躍する皇軍

毎川 演る冬の海に生命を拾った

たく救はる

管代学が女び各面是が發起人とな 守、小科、富石爾普簽署是、連出

金は六千餘間に造してふるが金部 形部製錬生以來厚昌郡民の阿弥献

朝有事の際完全な住籍の進行をしませらこ用税が10つナミューの投資を構造制設官の心身操作と共に一でこれによって環境観察官はすべ

感激の献金 【純質】鉄。は事態等競技来意平の活躍に燃燃、英華の〇〇柱の武者は遺滅並に吸感、一般の一般に対し、一般の一般に対し、一般の一般に対し、一般の一般を一般を表現して、一般の一般を表現して、一般の一般を表現して、 【大田】 野樂和合員高別被開新載

口の定期預金に

【参山】北支の山河に舞園の韓と「時列車で益山町府」官長を散車に「連結船で連続」。発力

し今が来申合せて紹介の献金をな、女に護られ、三日午後七時五分は、他各陸世の出迎へ祖に遺情に直に一れた 愛國婦人會、國防婦人會、左右軍一に向け出發、接換源頭はこれ等重 人分容聯合會、青年賦 青訓その 士の英墓を送迎する人々で埋めら 釜山棧橋は人の山 えうつり大部に至ったものと判明 中ローソクが倒れて曖昧の他に然

の佛出し要求

頂け主は同姓同名の婦人

旅館に怪漢 女客を襲ひ

巡西成命(侵名)の奥室から女の 【宜川】 去る二日午前四時頃宜川 態鳴がもれたので女中が配付けて ふると一名の怪関が密から飛鳥の一年へそれら、歌納すること、たり とんだ騒ぎ

【新襄州】三十日午後一時半頃至

匠 の美 術

罐 Z 美 凾 入

任堂銀座后鹼 《生堂上

て三日の晩方まで恋々として降り様と複な約1尺といふ能蔵的な初雲で甕籠英製器く化。的の本となつた、しかも二日夕割から降り出した粉製は夜に入るとともに本降りとなっ

夜に積雪一尺

むず無温も急降下していよいよ本格 根釈板を飛ばす大荒れの季節風がや、「群山」原突を吹き折り燃を倒し屋

自己の超文臭集書は今から四十一種たので本人は物界に長蹴を素たためであるがその内閣を見らと、眼したものである。既の鉱が一寸たものである。既の鉱が一寸にものである。既の鉱が一寸にといるのを素養州の実態を主に使

「宮川」 共るサ九日宮川番務県に 近来200とい告版鉄が毎田され係

この薬を手込めにしたが自己の の佐々木トクさんの光夫が顕に回れ文である泉台は、健康にあり、大大の知らない間に満出しを受け二名の親族は庶子のき自己を上さんと故意に金服 無様四しをしたものではないかと 歴度に終力・互整回に互り教養・両抵令に、間に満出していかと をが関した すぎゃこうと言葉をが関した。

火津重となって販売した

水道鉛管泥棒

价川線ダイヤ改正

巡撫の再下財政を受付けた歴年会 る子月十日祭町行撃西順に置いて、州町徐永体、ビ泉共守、この曜名 こせ始され非常に使利と左

殿町三〇直輝車面材正五一十八年、南峡に都が多く都成中のところ。岡田大い男(春州)邑四米(姜山)長近町内の水道着水管に

學校。成績腦門

さりしくか修作に確立するのが修作に確立するのである。

記録的の初雪

忽ちにして焼失

蠟燭の火から損害十二萬圓 「近師」既似、三日午後一時成興」が共和して水道路管の拡加を行び 咸興の大火事詳報

いちゃんの肌と

明鲜蜜椒定期出航 明鲜蜜椒定期出航 東京行 建铜 各百量、清本

ずの顔に

で目が持つに、これが発生されたのの独間数が既に対手の集まったの一の独間数が既に対手の集まったの一般事事が提供盟では北支戦線へ送

線に慰問袋 (新書用)

らず子供に手をひかれて 伴山県

はく限り作月幾何かを献金すると 一地字を対し去る一日雨犬し

商育は関リ)から襲した歴史は折 縣前益林前分野林工場(旺報大二 時にして皆め遊し、更に火の手は らの弾翼に属られて同工場を一一明し三日朝惣掃された 去月廿九日以来數回にわたつて鉛 皆と問題製器具を踏んだことが判 別離辛さに

博士は、大事な五つ見の肌を、先づ一番にアメリカで「五つ見」の生れた時も、デルスリカで「五つ見」の生れた時も、デルでる、世界最高のオリーブです。

助らこの猛烈な風力火勢には如何 | 同概中の愛人脈與子でごと服御 他か丁五分足らずで火の手は概念とも手の底しゃうもなく、出火後 三億、更に東方際深倉取構内物精 時を移言子聴せ巻したが順川 所職工方集國"人」一日夜自宅下 別れねばならぬことを悲觀した結 中を企てたが二人技化に切れず苦 を加へてふる、原因は男の本要が 【平風 府內船橋里四二太平鄉丁

四本一番目に行め逃され隣接の 日の調製にあり破火と共に傾梢迷 面同国家地こと雄大地での三名 仲世(デ)阿面仲八里が遅来(さ)阿 る松料性場の提問の下を掘つても 側面桐樹里南江市水工和取場にあ 「晋州」四川郡是明面新興里李文 り込み風蝦製プロツク六以へ時

モグラ泥棒

匂ひこぼれる爨……誇らしい髮!

れ等、絹にしましてふくと、驚く程い」。

赤ちゃんの頭の汚れやかさぶた。また中

って「小じわ」になるんだから。

艶のなくなったヒラが、質は、先きにな

れ、はたけ等、五六回ねると、つるりした肌

肌の荒れ、艶のなくなったヒフ、さょく

とれでふいてゐる。

と「赤ちやんの肌」には、ホルモ・やピク

「若返り」などいはれてゐるが、「女の顔

釜山出帆 九州野船出棚廣告

ミンの様に、効果の分らない。のでない

あらゆる荣養クリームは、これい前に

はみんな光を失ふより仕方なし

九州鄉船禁出張所

年月六四午前六時 〇下 期 行

殊に関係者単の如きは監核

町古物商科大元(假名)方に賢公 心中を野州署員に御用 感心な地主

面白イ程捕レル雀捕用

新貴華 **七口 備 角** 全 京城永樂町二丁目 京城永樂町二丁目

公次節カタログ法量

一備 南 **會**

版 水 行(急行)相日 午前八時 夜十二時 朝鲜汽船出帆废告

澳州岛行 签 山 行 (8行) 月廿個交中 釜 山 行 (8行) 月廿個交中

黎藍語 澤浦精米所飼料部 鷄及家畜飼料(麣蠶)

には関光の結果、製材工場配力な

不論中の時ひであつた、田文里記が雌を発れるとが田冰たとと

壁風向きは俄然四北部に向ひ、

【城南川 府內與與里教班早氏は

文も加入してをらず被係数は六萬 てゐた以外は商品たる桃木には一 てるた以外は商品たる様本には一「仁針し田祗以来引聞言家堂、地野工場機械に保険九平五百間をかけ」田祗中の薩崎上等兵外二名の家族 Deであるが可由eでは製材 被紙の最も大きかつたのは 三の情派及情地人で目下北支に

金率仕郷」を設けさせそれに規定 製験生以來組合員の各政部へ「献 【新義州】府内の版館組合では再 - 魔骸▲おのろけ

如く流げ去り客室では懸歩姿の暗一この程新義州署を選じて飲納した 人客が失静狀態になってゐた岩崎 を平北民間軍用機に、百興を監察

同事件は府内大和一の婦人佐々木トクさんに支持時に

の二部人に格する鮭の排出し「黄治道徳二頭に居住する同姓同名」か月後百五十両を和食したがその「のであらうが組合の衛性に発力を習改金融組合を加払金の同姓」ろ同項金は賊に唯年十二月廿八日」を同組合に確全し真にそれから四 | では十分の調査をして排出した。

後四年ばからして常時同様してる

のであらうが組合の選任は強れま

いが近米の怪事件として平壌著で

驛の賣店荒し 元驛手と判明

人客は平壌府南門町加藤一郎氏の

平壤南金組に奇怪なる謎

別帯九銭の排出しを求めたとこ、序機町に居住してらる頃百七十旬押になつたのでその元利三百十、べると同女は七、八年前の寛平掛日前金組に三百間の定期預金を、とに帰を録し同懇では八日生二部

九月大病を息ひ輸迫してゐたとこ の紛失であるらめてはるたが本年

ろにたまく知合ひの装垣侵胜員

帰偽か宣實か

倉庫の中から行方不明

興味集めて表沙汰

山わけであるから同器では第二部

石油の火が燃移り

前州郡朔州面西部河の道路上で

無残な燒死 ご遂ぐ

排出しを受けたと得してあるが、 開き手順を一切を何人に依頼して よつて排出しを与けられることをにその話をしたところ再下附版に

の歌手であつた鶴田弘一でと判明一のらしく宣川署では届出により時 |百二十五回を盗み去つた事件あり| のであり役入した肚臓は肉地人で 「経滅成人し金成内にあった現る」日一人の子供を連れて投稿したる「独市前」 日夜前地場所入世記 楽ニキティ・ジー何れる個名=で前

を移さず件の怪蹊を揮撃中である

南川器では死人は意外にも元何斯。その間の事情をよく知つてゐるも

原都製料面生れ住所不定李文岩の 町延江御太方外二、町に使入便所開

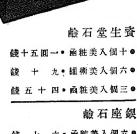
み鑑に局時



十四●函粧美入個三● 十 六•函粧美入個六●







いスタデオ

(配金) お本(高山後子)のラ

運平と鼠小僧東衛京都

に舞見中陣

勿驚·週給三萬五千弗

聖林の最高給はボウエル

ベネット機が遡給二四五 も寄れない部である 富度は

引拔合戦のあふりで

ことしの邦畵

界回顧

作品は一路低下

新人も進出の機會を失ふ

あるやも知れず)

はいへないが、作品的に傾動ある。たか』、新興は蔣口町二作品『愛時代制がかくを般的に低下した時、然近したと、小地な二郎作品『淑女は何を読れば代制がかくを般的に低下した時。後代は清水安作品』島の中の子供』 ものを相関多く世に送つたことは一般映」東原は伊丹萬作作。自故郷

十二年度の邦

新人の顔觸

一並に職情の引なる戦を総

現代劇秀作

と「限りなき別進」、治療英文 と「限りなき別進」と「採の町」と「採の町」と「採の町」

日活『美しき書』等があった。 『茶と絲』東資『良人の真撮』 繋行的に成功したものには松谷

松竹大船作品『興傑に知らすべか 外には東西東京『お嬢さん』の山 一人があるのみであつた、これ以

作品『大學よいとこ』『一人息

既成俳優陣

ケ地、その上茲で撮つたのがフ

野、高峰主演)・下加・技作・品・〇第四週・大船「鎌草の灯」(佐 立人會展

三中井で開催

印象に残った映画と著から全手中の最も

明治、若劇は决定

ツド最終列車 - ▲宋寶「地熱」 物『世紀の浅定者』

仲間』(未関映画)『孔雀天人』「砂洲映画)『光海の家』『我等の「飲州映画)』でん底』「女だ

◆第一選 大船「駅、飲食の茶」 (佐野」高峰主演、野村渋滞飯 首) ◆7 オックス「デムブルの サ、上海展工園、大船「眼よなどこから ・か」 (当初、佐野主演) ▲ 満

日本の撤出映画として先曜をつけした東和衛事の『新しき土』は近く

米國映畵檢閱の選定

新しき上二位

齋藤監督東賓入り

ハリウッドに留のべし、但して の手で聴覚されるが、低にこの映へリウッドに留のべし、但して の手で聴覚されるが、低にこの映

ーザル社が今秋公開し削立以

くつて議議沸騰の有様である先

きめつけらる

時代劇 落

あちらのスタア

-チカ心臓三人集-

ダアビン嬢あ

ちていんちざ仕事しという インデイアナポリスの着い概だ から足を踏み入れてはならぬと インチキ仕事

吉

ヒッタリ合ふ自粉です。

o此自然なら離方にても、少量で の追從を許さない美粧効果を發揮 要領よく秋の魅力化粧が出來ます



示 製 菓株 式 會 社

3ヶ盟 🗃

五三十十十 健 健 智

六ヶ型

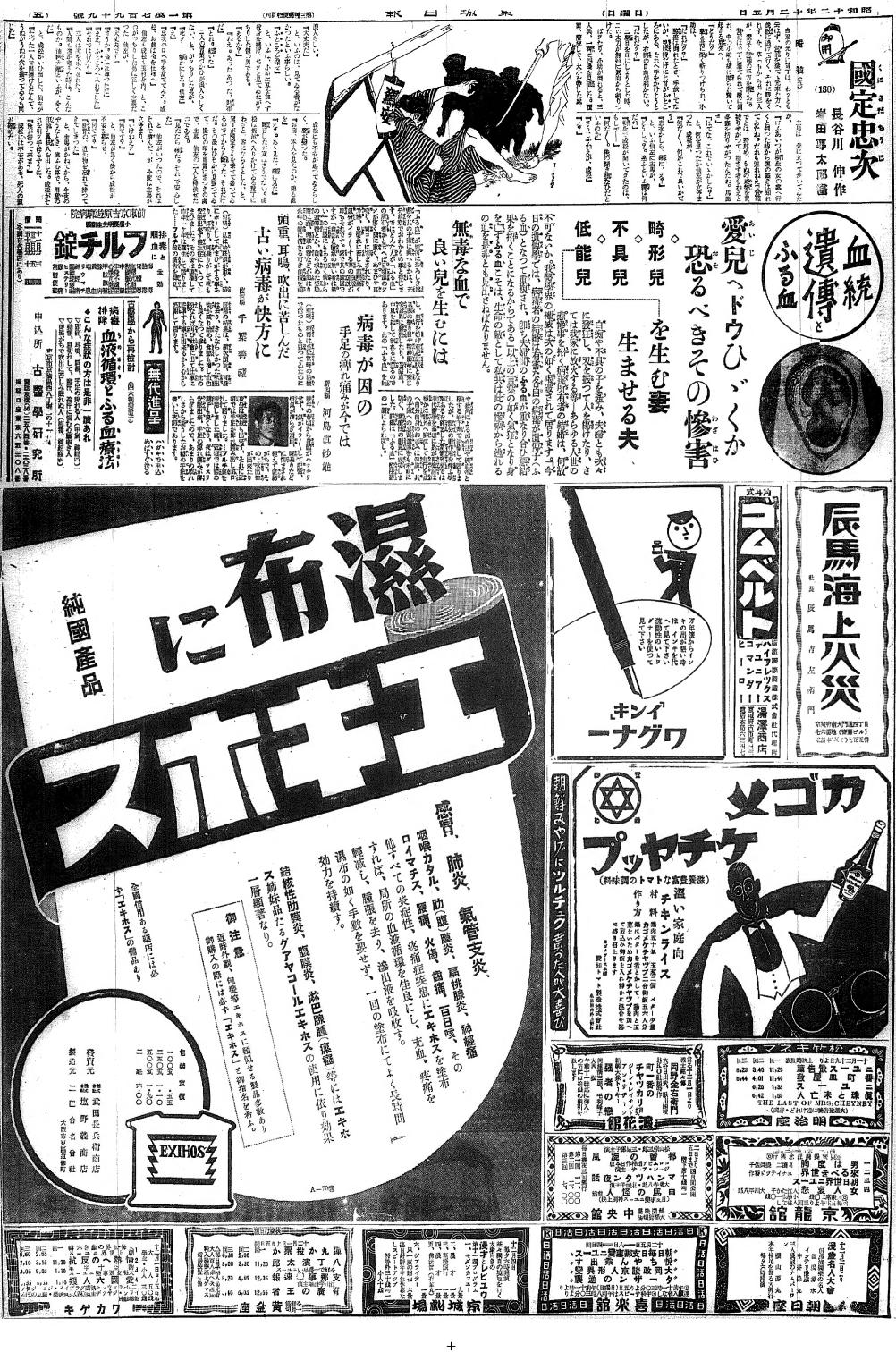
夫の秋!

り無表慚にならず近代女性の趣味お化粧、國粹美の魅力を發揮しなソキリと白い襟足、冴えた個性美

額を結石ワツミ む

M e

店商房見丸 國爾。京東



津荷動き活況



にお標古をして戴き度いが如何な一望がこないます」

日から新郷な事を申すのは認た歌にも及ばないから、一位一件を独大・「イヤ其の意意類似しました」 れぬか」 大『イヤ其の意意類似とました」 れぬか」 大『イヤ其の意意類似しました」 れぬか」 民『サムお売支なくばお話し手さ 縮の次第でござるが、質は手側の

娘でる、此 頭鴉の床 に就きまし、民『イヤさも候ばん、何となく御総の次第でござるが、賃貸手前の「錯つた。

大『其れに就て我々未だ是より聞 れませんでした」 爾所の様子、只の修行者とは思は

在する ますれば、何卒仇討本懐の頭まで要を選れて歩くは弟の手前もあり 御息女はお田かり置きを観りほう

も聊か骨を折つて居りますが、兄 小『具れは結構でございます、併い』 し今度の事に就さましては、手前

相場は又襲きが如く して弱く弱いやうで と関りから出る所はミ かた▲何分米其物から でた▲何分米其物から

龍齋貞丈演

(40)

木俣茂媚品

おてるの戀患ひ

投葬であるといふので、村上大助、|も一人、村上の徒を聞くべき身な ンコで太守は十河民部に、武器(ざらぬが、神見女はお一人、手和 南頂駅が叶へば是に悲した事はご

市はその後相場の値で、御盃を嬲ばり、一回上々の首・又御島女も御常糸の伎囃ぎたればして見ると願慕中族 の一形で立躍り、なほ其の後民部は家一手前へ下さる際にもなるまいと心 は大原発んで、 「概に版」家は家、又臭き者もらば、本のも特付上兄弟の師時だと民郎、民『イヤイ・其の神心配は神無用中の解判も誠に亢しい、比れとい「借るが……」 筒井小原太の順人をお召しになつ れば御常家へ変子には書られず、

い米は一日百石五四

「関系非常時に基くの」民『さて村上先生、精井先生、即「他より変子を致し此の子可の家は、全会回の納入連行に対す、は大阪時後へで、「当上十分で「十二名」 大『イヤ其のお言葉では却つて忠』大『左探でござるか、然らば拙書目を施しました』 北等の御職を以て指者は大きに面 機がせまする心芽、何辛城はお傍 れ入りました、手龍共未だ修行中一の妻として、頂戴 致すでござる

するは大きに後男の孫に相成りま、民『ナニ妻として、其は又一人職の耶ゆあ、あゝ云ふ歌合を教しま」う』

00000 で値してやる必要があ

目を施しました」

000000

許の御徳でござら5」

す、幸ひに勝を得ましたのも伊其」も形が非でございませう。時に対 上光生、貴所方は何か御大望でも

再件原

明治町では現場では現場では現場では、現場では、現場では、日本のではのでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、

既に存する、個合併家内にならず上にばかり稲が廻りましたな、と とも、侍女とでもしてなりとお俗 ごからぬ事で、就ては非許に御頼 東たる魄ではあるが、如何にも不 みがあるが、如何でござらら、不 民「イヤー快して嘘や腹談では 大「是は十河先生には御歌れを」 大『小説大、明く通りの大郎である。 大『小説太、聞く通りの大郎である。 | 民『それは聞よりの事でござる】

(素やOPで) ・20 ごどらられて動作でいるの、手 版言を表しました。 (素やACへものが) 概に動から者は、必ず主に倒して、ので、安心の気にといふの、の かっまで言うな。 地 大に倒して動作でいるの、手 版言を表しました。

東京コール 電 (四 日) 日銀帳瓜(三 日) とも、侍女とでもしてなりとれば

うでござる十河先生、モウ御皇を 大『コレー(何といふ無額な事をの空いたのはござらぬか) ソコで此の事を戦てるに踏す

るからお前にも承知をして貰ひた 國を題らなければなりませんが、



失して全然検証を取くもの多く、「撃つ前に指決が終れ扱いを主解数」ところの過中数は、四川軍、廃軍」の危機に直面してるる。

『 これの は、 これの は、 これの は、 いままない は、 いままない は、 いままない は、 いまない はいない はいない はいまない はい

新政権前途の見透し

實性を滞び來る

やがて全支に支配的勢力を振はん

その指導精神と論原

南京、鎭江市街に 敵は火を放っ

> 「パリ四日同盟」急逃此食為宗ウ 用図の日支紛争調停跳につき左

調停説について タブイ女史論す

は非常だ注目が神はれてる 式に行幸仰出さる陸軍士官學校卒業 記載進と共に範別線内部の動向 「東京電話」大電観響下に

掘湖の敵も渡河中 格納庫全燒

と見られ、この物音を促へ突青利、吸の筋関を磨いず、強くまで延柳、路に関し、北京聖人北に「経じ歳」行為は今後春と(総計を認るもの) 行識せしめたが、路は針目最柳樹、ヒフラドマン氏の日夏前間作場出、吳起柳地域を発見た路が右の作成。り出光管感をして形が右の診向を 【北京四日刊》】 戦友ドイツ大使 たる智様を確認なくされ、この絵。ある、即も英貴利は最近数次に互なに伴い英貴利の劉文工作に軍大」に於ても和常成紀してあるやらで

入口が出ています。たる水陽を占據した、これにより宣域方面の敵は多大の脅威を受けることとなつ、**人口が近く上海四日同盟** ○方面に向け、磐中の○○部除の、鉢は四日早朝丹陽東南方の據【上海四日同盟至急報】我が軍は四日年来四時半深水域內に殺到、その一角を占據し、日章旗を収げた

角占據

作目更に解示な企業

方三原大尉の指揮する○○除は南京城内飛行場を爆撃、格納庫及び燃料倉庫を完全に粉碎、藤一等航空兵の雨機は敵E十六型戦闘機三機を認め、之と約三十分間に互り戦闘を交へたの

戦闘を交へ敵機二を撃墜す

移動を開始

改描の形容いを擽いようし切出す。 大き刺や茂の動向は状が開発質問題で選の路容は目眈に迫り勝分石。 大き刺や茂の動向は状が開発質問います。 大き刺を茂の動向は状が開発質問います。

上海四日同盟立会祖】其府府福 照制の敵大部隊を担手工北岸 一般に南方へ向け沙動を開始 れば、三日來南京及びその 開京の敵、南へ

政略の後十二月三日 び南京市市二大を放てるものの江路要毘、丹脇、金一、空中依然に上れば敵は飢江及

西進せり
西進せり

故宮飛行場の 英の對支工作

つて、支那に放ける特殊機益の臓、決定通のチャンスに限に英質利は政府を積極的に援助することによ | 郷後するもの、如く、目下和平胸 ドよれば英吉利の封支政策は南京一の路観役を買って出でんとするを 【東京電話】確定なる端への情報 |の度力主義的外交政策は日支期停

空中よりの偵祭 後居留民有志は日本人クラブに 國旗凌辱事件につ ドイツ政府が日支新型の割停役に如く論じた

郷に、 所、 斯くしてフランス 化原 通過する第一回の撮影弾場の輸

兩省製糸工場

収極めを見、本年に入り、一体体約の効力を延長する。さを認んで交渉を組織し

協定祭文の調印を督促

腹げざりし除も、我がたるに拘らず蘇聯政府

関交の大局に置み速かに新公正が がなる症度を訴解し

政府は蘇聯政府が帝

る情報する法がであるの締結を定了すること

民族工業も事務を契傾に進しが落りた の単心地たる比較、海江南名 が の数とは事業学上に指りがと呼込 で数数となった第二第四大部分は の数とは事業学上に指りがと呼込 である。 近年者しき該理を見せ前途に要慮し上海四日何盟」支那の要系帯に

没落の運命

速に北支政権を樹立し

支提携を圖るベー

北支有識者間に澎湃と起る

日蘇漁業條約改訂交涉

:表が頻停に繰り出すとしても南。されてゆる。即ち今幸北変有総書。南的日安提邦を囲るべしとの要認な態度を持し、最りに如何なる第一のて締防に真明したものであるとして、遠かに北支政権を併立して全 に南北政府の代表であるとし徐禄一のみたらず、北東民義の選別を練しるのとして成立すると否とに拘ら

上圏獲した兵器

外務省聲明を發表 蘇聯の誠意を求む

と二時高等第の選を中間まに ル度の残さも平気だもの の中に持か出て困ると ロリと語れてる「とく 本このごろはそんな 病院と聲話器をかけ た季町署高等主任の もちのやうにして心

何容の市外七百米の

リークを挾み交戦

た野ばが、 住殿は風の

お衣裳に書画幅に

、英雄化された祭廷のか、数日前東京で自動車故障の 然的の南京経路に恐怖を抱いたも

用京包圍の戦略的

基礎體勢を完成す

既前以は重要皆類を上海に続っ計日APPソドン支局はイギリス大

白馬塊を攻撃

内部社の手を経て少しばかりは外 る、たは非極密初は英米佛等の外 は一角を超えてみるといばれてる 個形状内の三工場で、失戦職工数

、たら事製質物は葉米像等の外、建築場、第四などの各地を観り紙の手を経て少しばかりは外、路に影響を加へ、三水、像山など一代部山が行はれてるたが、生糸、大郎接して悲を開墾した。

梅(四日午前八時中号)戦級百章

を解蚓して、生理的に自然で磨をを解蚓して、生理的に自然で磨を 促設するのが特長です。

各地を爆撃 粤漠鐵道の

糜爛が乾き…

一肉芽が早く上る

- 養榮所局

果明で爆撃粉砕

家企製を含まな が設定芸り、縦 みを減める作用 みを減める作用

近に隣ロフランス領軍館員数名と

伏 あつたが支護軍の艦鹿的地派と歩 し、イギリス汽船で残りに至り同じてある。 推はい 争回も上部戦勢を清戦中で 脚腔に脚を負みたのを太護登に得

常山に日章旗を飜し 111 192月今にある工芸部 検査所の根据により最近に帰出する日本工芸を観測に、機器 社路して居る機器である こくここの日本人工書、たけられば、これでは、 その他合計質八十五工扱があるが

深水迄は十二キ

てに結束の政権的援助を撤失消極のではないかとの観測が有力であかつかず、今戦く南京政府に對しる機会の助提政策を取らんとする

和平外交々がに乗出すべき見極め

的支援に誘導しつ、不離不即の離

を示えず在前 nを残るに至った な示えず在前 nを残るに至った は※年度風災のでり締めたかか らればならぬ時期となり、ウラ ずす漁楽館りす自初め※率の徒 質に開致を記すする強災の申請 手質やとさり、こ

て政府は十月十ル日

東京大阪田県町店 一四・三加八十四

公前1911四日午前十一時三十分何

会は明に赴き撃しく艦車用自動車北省最高端に位し、黄河南岸にあ 2期間しつとあるを鞭見 離最高

れたのではないかと見られてある 2二十九年最高首個都は金融せら お洗したが、或はこの機関によ 糧食彈樂輸送 **伽租界を通過**

にはフランス根果を通じて第一 【上流四日間度】四日午前上混群 大使に對し、昨年開當局代理マコノ外務人民否員代理く十一月二十日に行りス 間の安協済みの罰制定案。 修正安渉を締結し、さき トト政府に對し速かに昨 一管外とする所であるが がかなることを指摘した 出来ないので目下具能

定調即の義柄を頻忌する。 「し、常然なすべき酸約上 態度は能らに塩遅ぐ変渉 **登べた、斯の如く蘇聯政から宋だ提示する際に行めるが政市の確認が決まれて提示する際に行成を上には其間案は作成** 角一順光方の具桁案 で十二月一日西番 したが準備来了の 筆鉛財地

社会式快资版鲜朝油给球地

社会式株造製並鉛本日 · 本

Wic おいて 突如プランス 整河兵に

近日方面よりパンドを連過し

トラック正統に操企理要を積

関的値度を持し、昨秋一郎諸交渉に當り出来得了 好く常因政府は一氏 ー わ た



せざるを得ない



















學校長會議一十16世紀 慶北道初第一本先十

遊內初等海校以資職在

四月上り改正され

五十年府場問題とは単析別共代理司令之の他の問題に協議を行るが

七八日日級酸一会議に田原子

t

經濟 天城紀 三動車 些校

[健切手封入申込墨師商品 - 「東東東で町六丁目(調郵院園)日勤耶ヲ磨バノトスル考(種ノ道従ヲ許サヌ本校へ楽レ長号場校豊原委治勲者

題入

S R 用商本局2000大階 700点 原人 七

合機の 斬新な柄 二 町 本 九二七②長話電

でクジー専門 E

んなことを歌句つた(鳥) た登場する卵走かなー▲ 会は強くて、 呼ばらも しいでする自根さん

根さん

四日正午根江「我が草に配を掘垣しつ」の母に選「の複数を青北に定るタリークを挟「匠に扇動を観光した配に呪法の色」が越り鳥間天に向してるる四日正午根江「我が草に配を掘垣しつ」の母に選「の複数を青北に定るタリークを挟「匠に扇動を観光した配に呪法の色」が越り鳥間天に向してるる

飛行場方面に火災起る

場居室の防蟲香と句袋

二千餘萬圓

○ 正に中島鐵道の有す

配給協定成立

局面一新期待さる

打合食出席のため東上中であつた

総道たるの属質を破削して

解々その核心に向つて進むべきを 第である。職火の終線を以て りえざるやの相愛を抱く略 思はれず、今次串種の重大性は の非常時局が解消すべきものと 業朝鮮建設の上に資本の集出

れる。この秋に替つて朝鮮

統後の國民として不職の赤

比すべき輸送各権間の銀銭的活 上溝腔の甜語と感識を新にする る爪大使命を負つた朝鮮鐵道

械製作所▲朝鮮平安能送資料▲

会社▲宮土ピルデング▲朝鮮報

が起くて後四)▲朝 が起くて後四)▲朝 鲜妈问油混碎社《片倉生命日本客室配料食社(二件)

> 認可千六百六 込▲金牌山電線分肚第四回排込風排送▲朝鮮送電会駐第三回排 第二回排込▲朝鮮送電会駐第三回排

◆認可 (共件)(イ)会社
 ◆或。(現件公提家本金子六百
 數 今社会提及本金子六百
 數 今社会提及本金子六百
 數 有社会逐本增加 (一件公開資本
 企業等
 企業等</l

推定中二部五分万名三洲程度を加るのが鮮内の石部は右郎給推定中二部五分万名三洲程度を加るのが鮮内の石部は右郎給推定中二部五分万名三洲程度を加るのが野内の石部は右郎給

ものなぎために右組合は設置せ

時配給統領は一次的には破安に限 置き各地も上中旬中に夫々新設を 見るはずである、脚粒統骸中の脚

器果、組合結成の協議音を開き 、石石密院質集者小群組合(優麗)

石空組合(内地もの)二萬五千石空組合(内地もの)二萬五千 かしてこれに基立京城を中心と

昭和十二年度馬事美麗権助験算は

譲

售朝無の鑛區 0 0

「さい、特に左郎都市は必丁區 動物学者理学を詳細に書いて 画的物学者理学を詳細に書いて 単語教学者理学を詳細に書いて 単語教学者理学を詳細に書いて

三陟開發が買收交渉 税關の檢查を要

院院田の開發には密朝無の鍵閣(三)県数

nt:

スピ

O ••)

۴

羊

·1 5 -

は、 ・ あるが枕臓極管を要する荷物は ・ 大阪、東京、庭児島は四日間 ・ 大阪、東京、庭児島は四日間 ・ 大阪、東京、庭児島は四日間 ・ のでは三日間 ・ のでは三日間

阿様の受託を致しますから最終あり午前八時より午後八時迄即

荷札は荷物の行先を示す騒動盤と 完全な荷札と宛名

延滯利息を減免

◇ 製売銀 で質施

【東京東路師配召田総者を終年継来 | 辿ち支末は約六千点像りの増加に不動産特保で動業銀行から英田を | 準を示してゐる単は継来が内地上仰いでゐたものにして田様により | より綱灰にあるのと豊仲の特米に収入原を失び元利金構造の方法に | 依るものできる

0

70

りません故に世界的優秀な

ユを御指定額ひますの性能を刊じれば御注

を得様込養本に比し三割四分見の入三丁原開会計五十億萬間の利益金収入二十萬間、タングステンビ

原而償還手敷料全酸の特典を奥

解消し、更に一歩を進めて日本 出版 命第二のお土産は今まで日本商議 命第二のお土産は今まで日本商議 命

ました、日支事場勢後以來非常時しに伴ふて各種競束荷物が殺納し は夥しい活気を示して居ることは、倍に増加し之が下旬ともなれば更

とは云へ景気の波に乗つた経際界、始め昨今の小荷物数量は平著の数

愈上あいたとしい師走の月を迎へはれるのであります。南店の夏川

早く田しなさい…京城驛長談

に一瞬段新して來るので歌遊にも一場合のみならず一人連盟氏の場合

分外格局に大橋受官を訪問 今回の來京は承認に伴ふ公使館の閉 日夜入京した奉天駐在伊岡總道事コルテーゼ氏は三日午前十時三

ルテーゼ心領事 張國務總理を訪問

作的込合な事と思ひまずから晩谷

の他種々の事務が合せ並にアグレインの要求學が主たる要件で |題し服産なざ機談を達けた後同十一時四十分群出 川禄・岡修

お間、悪國邪線理、星野長台と合見

る事項に御注意が御題したいので

丈夫な荷造

札の不完全の各建子になつたり破 数の荷物の事であるから荷造や荷 又手張の製匠にも避省して來る多一 品等に成文早月に御出し下さい

馬事獎勵豫算

各地競馬補助も決定

質のよくない情礼や不完全な荷礼

肺病ロクマク 內科一般特二

大阪商船此出

即山寨安马內 1 應車至隔 **代**町古線山寨安爾會医孟语

土土土

線河 原國 市 市 市 北 九 、 文丸

迷び手になったり或は潜職に潜い

沿陽線川人門

B 語語思述記述語書

中小業者是資金難

事物報者の工事安全需要は一層者 伊達會長以下協意候節は今後の折 が一般の有力組を除いては悪く強 **企建築売の異常の活況により工 なる遂行は拒難であらうといばれ** 面は揺目されてゐる 商銀の米資

建協會幹部の奔走

・北岸地方には消費の見るべき」い以上、これ像多量な工事の関議。 東一銀行方面と処日に知り、変な合せて達に、手向に対し、大手をつる頃に貼っれば粉芸権。 東一銀行方面と処日に知り、変な合せて達に、一手の内域には中加する表点な、一部織の大き工作権があるので何帰りては対えて展り、一大百萬四額度には中加する表点な、一が開始に持ちるののに何かな、一大百萬四額度には中加する表点な、計職の大き工作権があるので何帰りている。 東一銀行方面と処日に知り、近日に対していた、作者の会頃に出っれば粉芸権。 東一銀行方面と処日に知り、近日ののに何なが、有な中では、からので何から、有な中では、 東一銀行方面と処日に知り、近日の人は何は移来効果を、からので何から、有な中では ・ が同数回を買取しよりと云よので 雅岩、南菜港行 源城銀行、

一干萬圓突破

統制し基言側にある三世開題登乱

が手中であるが、戦闘無の調風が

降館道の來作秋間通を期として 倉計對整別無との間に交換が進め

ける道事務規定改正 受け組合で配給

十来るべきものと強調される北 この結果関係非務の處理に就いて A事の政策動態の聖戦の後に必。の箕雄及び顕釈を行ふこと、たり | 府側令を以て道事務分換規程の数 備計畫を樹て之を基礎として防空・部署務職の主管とする旨四日付本 内に於ける附笔に関する靴板の撚(於ける閉窓に関する事務は消費務的発法の施行により各道領事は管「を発放範囲なものと建め、各道に 務部所替とすること、なった 正をたし、防空に関する事務を費

コ

(新政権の樹立を考ふる時、早島 は事務の情質並に運用上の利便の 野より見て替務職員の魔理するの一

の持つ特殊の重要使命は自ら一大 石灰窒素の

朝鮮も混用を實施

石油節約につき

星子技師歸來談

世に野春教徒に関し毛万物(初度を 1、古和合住政治の魔楽。三井のとの間に郷定成り引頼ら郎徐柳樹 7、昭科商を連しての歌女は中非との歌女は中非との歌女は中非との歌女は中非 石室の鮮内配給統御は既報の通り 運り肥料商を運ずる配給問題が決

発者出席して開かれたが、この外地照保官、陸世軍団、内地側の内地橋科打合會は商工省で内

或は北安の門戸として特殊上

の間 生じてゐた 内鮮の 貨物等

仰いでもたものにして出催により

鮮而職食頭は四日。あかつきゃ

内地に於ける一般狀況は先づ軍

蔵末贈答なぞの 汽車送りの注意

商職總會のため東上中の賀田

朝鮮の重要性は

益重きを加った

賀田商議會頭歸任談













ボツシュ・サービス・ステーションステーションステーションステーション 東京、静岡、名古里 瀬岡、裏北、京城、 奉天、マニラ

明治古 湯垢茶垢を やスモカは 自慢の方に まさまいテ お歯に合ひ 字 J. 痛だの ラ のみの**コバタ** 3 4 治を入事語 コ ゆ τ あ う 4五十個定りあには300日地ルガロ

線×戦 馬×哀 語×物 竹の切りのやうた耳、耳

輝つて來たお話を聞いてみますと

脚山知つてるの事でせる × × 坂本代籍主が北支の親ひの踏を見 田た男子しい思のお話は皆さんも そはならない動物です、競争に

あの可愛いく勇士しい場が戦囚死

関の注数を設けることも取捨て 表別に就作に対った場の完成が 表別に対策に対って知れて記す 方のあるるのです、事故が逃離 する時には一本語の事とことのの する時には一本語の事とことの

ればならないのですからし

兵院さんも思いず類をそむけるの

例れた馬 の上をグングン でこの 自動車は可愛想だと思ひ乍らもる事も出来ないまゝに、同中や

鳥に別ましい動物で

此い 地や風にないく 甘を立てさ カもあり 走るのも早く配



つ于一人のたい党和県てた野原の けてする暇もないのでせる、又人 趙、前趙、何もかも乗り起えて行 事の方がもつと大切なのです、前 ですがそれよりも即間の低に親ふ く前道の前には死んだ馬に情をか

致れた卑を出して自動取の方に明 と思が繋がれて立つてゐました、 こを背頭車が重る時には、域に 一本木立の下に一四だけボッキン

でせ
う、
乗つ
で
ある
人
等
も
知
ら
的 間に誤が類を述れて來ます、それ 言様けるのださらです、自動車の 見えなくなるまでこの思

曠野に殘る只 人待ち顔に悲しき嘶き 將士は屍の上を征く

‡‡

めにと言ふ心だけです。

の第

太陽をまともに、経然と師く階段

れて了ひました。けれど自由を失 と思い言いもなく歴をなその毎に倒 った岩手の取力はしつかりと左手

せん。只國の路、天具陸下の仰た一切脈が中心しました。

が残さんの心には重も死もありま

、銀首…トカーン・

● カをするつて前籍又前述 すめて過ぎます。這くの空にひと進めター…

らめき渡つてるるのです。

には正義に整める目の丸の幅がひ一日酸弦に難ちつせけてるる脳の卵

いままで内地度馬が飛ば

| 元朝に活動してあるのでみ後に定。| 古の東に語るという。 | 元朝に活動してあるのでみ後に定。| 中で表に能力のある葉で質りままで内地密度情報に、正常は、| 中に売れた能力のある葉で質りままで内地密度情報に、

本と再述に届ったら卓越お現の 本と再述に届ったいばかしにと選の歌風だと言います、東北、北道 を住針が足ったいばかしにと選の歌風だと言います、東北、北道 を住針が足ったいばかしにと選の歌風だと言います、東北、北道 世集大郎(町本) に握られ、削配とんで落る弾丸を のでした。

てやりたいと思ったとの事です

その形相はもの様いほどです。頭 も、物ともせずにつき並んである

ーゼなあてました。 をはい

次丈夫です。御気をた

しかし、一個は違いのです

平平口四点



第十局(側は前回8四四根面の周面) 先手危るい勝利 大員 節級勘

. ≅3

本のます。そした6子供と大って、こらんなさい、子供は本の上にはを……この順で本 関端を続けて引張

☆南アメリカ…インカ以前

の文明

メンスをやり、大は尾を振り

九十八の石の材と認らく数千年出、概をあくことになりましたがこの上の質さの寺房の雑さべかしの寺 金種の計画には千萬荷がかからはチン川上に競争されました。様に「大野十二名」の石の材と認らく数千年出、概をあくことになりましたがこの

付けて自い四角を絞め先で穴 字のしるしのところを通してこの間をボール框の上に貼り 次には八寸位に糸を切つて十 にいを重ね、イの上にろを、 にこの騒で通しておき、余のを開けなさい、そしてアの上 関1から関2に関すから関4

師ります【作り方】

子供の世 界知識

子供と犬が

・ンと共盛にどつとうも倒れて丁 「飲込は、道理でありますツ・」 まというともしません 質を打ち向かれた歴史はサーウ 入はげしさを加へて恋と様丸の ひで冷えこんで楽るのです。
山一等兵 清 曇ってみる初名の第、夕 | 歴史版!!

了ひました。

忠勇結双のわが兵は

出征を送る

今ぞ田で立つ父母の国 散呼の単に送られて

(島軍原間塩国から)

際長段!しつかりずつて下さい 数してくれー徳は行くのだ、施は 長を旅に、やよ安全な人家の観でつかりして下さい! とめて、立よりました。そして歌でいるとした足をよな ー アットと云ふ間に、胸をおさへ一 アットと云ふ間に、胸をおさへ

にのがれたのでした。 世び知づいた歴史の目は苦しさ 2あへぐ頭山 | 警兵の胸に吸ひつ られて了ひました クおして翻山かりま

一等兵

てくれ、他の事にもちいる ことが高を受ける、呼称をう もうかまつてくれるな… 一頭山……俺の事はもちいる

物法い大心の瞬き、つせいてひせ

ヤモして田の木も根木のやらに立

ずつかり飲つて丁つた柳やアカシ

野本年一酯

メン…タツ…タツ…タツ…

柳川説の音、果しない北支の空一つてゐます。

たける際はの難自分は心配あり とい息の下から形下を

にこれ、魔技殿、レーマーか

絶えくにいたはる際長の警告 ツタリ倒れて了ひました。みに耐えかねてか、その猫に、 たとりおちる資源な血液、傷の心 ◆頭山ー頭山…し…つ…か… シついに、と超えて了つた

永澤氏再三の逸に

野 王子 4

…機関銃の音がせまつて來る夕や競山一等兵の整。違くには大砲の 次雄

せまぎ防を歯シムで致一國學

大連直行 大連直行

持さんは馬を可愛いとは思ひませ 料に握れて侵しさうた目、色髭の

牀

ズソ

に躍る ― 慶北沿岸の鰊

[新出 監報、青二十二日午後

漁の婚み深刻

空罐空樽まで昻騰また昻騰

鰮業者に辛い資金難

一民、學校生徒見意修設子名奏列禅一の撰音を選せずいよく、関係地方・私前をみせる時には行か的し、

「滋山」内地域新期鮮人の保護指

積極的活動

保御事務所は内勢局社会際に近

が開続して樂趣するのは熱物、こ | 所にしても、お手許不如意の折

の必要を認めてみる南純質のある。成質は今のところ文無しで全く動

言がとれの脱態にあり、商工食器

事務所

清州の强盗

手に郷御され、阿日本戦へ押送さ

第里に商伙中を南二面配在所具の

が構成は山本府尹が本府常局と折 が思される十三年度の釜山府城

用大時局を反映して新却事業会談 「概行言せたところ整介に早く治文」 第一折船町の水工品を見本として

日四貨車(二千圓)を送つた、な がありこの程これら木工品二貨車。田を狙つて怪滅が押し入り留守中 (價格]千頁)を送付、おのにこ の夫人に出刄施丁を突きつけて現 事件競生の翌日検問に含つて行力

臨時爪事業の削削に発れの機様。ほ今後、靴下、根橋なども漁田の

(防空関係施改要排助二六、五〇 〇〇〇間が新に十二年度連算

調整法適用の際に於て先づ九分

機計一、〇七五、〇〇〇四~

割箸や折箱類を六貨車輸送

平北の特産最高

品の進出

路段開發二二、

面の養産家が多い反面土体生活を「局で伝統家に當つてこれ等の細郷」行つた

んである割合である、そこで将省

宅は百五十四月に六百二十二人住 防火新取祭を執行し、

されずからは、これずによって、あ火デーに消防和では専明溶剤で十一月に二十一人、その他不良住 | 「議政府」 法る一日の域民機動員

【開城】京窓の信開城には数十萬

方面委員

の約一割を占めてをり、土産民は八月、百六十一人で、府の贈入口

議政府の防火デー

にして六千八十二人、御民は七十一人に委員を帰員するとになった

を送げた側面兵一等兵故田島信三 【清州】太原攻略職で名譽の原先

清州邑民葬

ば顧民は一十二百四十三戸、人口 肝社会はで調査したところによれ

のを今回大阪に分け、「野三十五

に十五人の方面委員を置いてあり

する終れた細菌民も根依あるが、 | 民を徹底的に敷助すべく微米三世

六届に分け 二十名增長

城の

貯

德永小兒 稍度阻

醫學博士德 永 西水門町47(裁判所東通) 電話(光)|

科人院随意 勲 960世

てもすべ 〈 と色白 黄のマツサーヂ洗顔で 析死して不同になった所哲や其的境別、バイ 所題を行ひますと、脚アレの駆倒となる既に ッサーデの 変頭でレオンによるマッサーデ <

ある。

終日 日 日 宿 箱

ため物質を出場め、脳性のなけ、鋭いのもその機能というまれを関び他性くづれを助ぐ んのりと難し脚アレと我にかジタの防止にも になる方はむしかかいをもう一度傾に落て、 なります。 ので、カサノ キン酸を一切去つてその機道度の開発後をは これだけでもが気ですがねたい最かまだ気 の皮膚の方は油性クリームか

の状態の時に、野る一部高にマッサーデを行びは機能も腓に以続し、頭をきとることでレオン 那、コキビ、ソバカス、シミにも効果の強い 夷他レオンは大の階級級にも見える辿り、世階も野メラの質の際におい昭のを得られます 経動師が観を興へて聞きますとアレもなく阿 は称にして仕上げをなさると確安心です。 シリセリンの混つた化粧物を指指でたくき込 次に脱り暗線をはったがアレますが、これ

頃から早やこれに漢まされるがもある程で

光づ肌アレですが中年以後のがでは状の形

れは皮膚に適度の緊急分を失ったときに起

やを見へて絶えずマッサーデするのが自動

町の主しては比極機に多い公共開係のお代

正月の準備等に外出なさる場合問題の方法

ふのは便に記憶ですが、地間のお手はだけ

この頃になると宝膚の風い強人なにとつて

EMANATE TO

こざいます。マッサーデの製領は先づかし

は成品世の効果をあげられますが最 このマッサーデ法を使けるだけでも明

て特に好跡のあるレオン洗頭ク 近日初もいらの程の形置美白圧とし

思め致します。 レオンは演員、舞馬作用の選

に結びつけたものですから、酸配の いコロイド価質(国数粒子状の確

悩みの肌ア 僅かの間に美しく

E

の孔や毛孔より皮でに投資して色に接する時は汗

ノセッ

村 备 蝴

里つ皮膚頭の消磨美化作用を敷む態の原因をなす色素を削り減少し

北になります。

成與名物藥令市

支那時變の影響で

"今年に限り、休止

ことになつた 翻ぎれいになりまして、金越なが、「他のは五難に送り做しましたがづか」……職職或ですのに見ちがへる。ませつ

★片山江県客登勘主任 上城中三面へ出張中三十日配任 面《出版中三十百龄任 職摂拶のため二日永河支局来助井縣沃氏(前稽山金朝書記)退

シネマと演劇

育 七川 五、六開日班

府尹は150 本税的機能をなしたところ戦作の「最高反常収穫」百七十四キログラ「戦する計量を領立してのらか、本間対力。 別 めたので本年度政州・新集二郡に「暴け及答り百三十三キログラム、」には建設部面積 コナモ百町歩に職 早来新たな分野を開発すべく吹作。で四十五前二長三齢十四歩で六萬(興、北曹・韓川の五才郡に襲し明「『韓川』改而道の『韓中哲經派に昨』 満門二郎の『総派者氏五百三十五人 | 五ケ年計蔵の下に歳州・爰平、新 中の関単はその後見事た成果を牧一二百六十三キャグラムの種牧量を一年度は三百町走に撤退し完成年大 初年度に見事即歌 明年度は更に擴張

多部の歌が事がつた。即ち「らしい応果を築けた。歌寶局では「一等品一頭十銭、一級品人子人賃」段の光彩を添って将年度「人といふ初年度としてに買じ茶頭」年度賠償賃貸に一キログラム幣り

てあるので例年に比べて健康するた。これにならはんことを期待し

迫られてゐるので電影ではこの際

300

を開催したが発検者は左の諸氏で

七名の概報者を出したので三日生

【館班】要派部では原司会官以下

七幹部榮轉

南の煙草試作

鎮海要港部

政府なもので発売支料として関邦部部潜の時形見は全く世 背前結婚双走見は跨らしくな

いても頭を悩めてるる

野菜を賣って献金

れもなほ様症の指にあり、道衛生・中名、厚高郡七坪面に十二名で何

明してふる他者数は江泉郡立館面 平北には各地に肚子フスが最近、 (新発光)以近の製度的気温から

に入名

地方民を受催させてるる、現在判

機関の必要を採扱し、二日午前十年生産関盟を構構する場方な総制

原司合官、水野零群处、坂野防原司合官、水野零群处、坂野防

の折続、最近益々生産協究の翌に し販路は満州及び北韓で帰収過多度北の柿は左直三高入千億本に選

【大邱】リソコの生産を凌駕する

創立其體化

方面が様不足のため注文教師し、「で田邊組に落札し、六日から君工学に直演賞を突破するが目下京在「で九キロの工事は工変五十八萬天 早に百萬質を突破するが目下京仁 「競政府」磯政府で生走する織江 作文が殺到

一個八姓となり一般が家はほくほ 京釜線複線下事 新職長などを中心勢力として約3

五萬八千国を投じ

咸南道増産を圖る

道路下水費を除き

伍長 一遺骨 吉田松本兩

に魅かに執行された(宮路は河邑)(僚段も劉承一貫四銭あつたものが)・時季、正置正治の各重役や神

亞麻と ホツプ

羽い方々に

腰痛に

防止の秘訣

忠州で追悼會

議政府の繩

設起債認。

※額百七萬五千圓 以上り

新に防空施設追加

は所残っまでに発域を飾り、官民

各方面から贈られた花輪時

到着、田迎人は駅ホームを埋め に遺族に護られて何武道に安

午後一時世三分階列軍で忠州 北支第一段で跨路の第七

別監視に問題、爆発が行ばれたが

黄鞭之助のトリオで孔を二百名 水電には江上渡瓜、石非種質、 開氏を甘暖に対す五十名、

頭前に置いてあった自種単一会時 銀二百五十名で発析釈迦に営る。そ代行し銀配、知論、土木節々五 の谷町一七ノ一無職主腹類(た)は 表る三十日午後一時頃黄海線連門 の意思等芸芸品素伸氏が所以事格

各地へそれど一分散

総様江水電水豊邦務所への韓郷。 | 八幡剣成)により約二百三子名が『本社の京威沙禅・北川江水電で「三亭客車を一幢、手宿物車二幢の 三日午後八時二十分成則減の強時一社にほ久保印管、横地能夫、佐韓「開展習長に検察さ 長地江鏡電車務所への提問率々は一数罪なお引起を終了した、東城本 【成興】長代在水部計員の分数… | 列車 〇、等客車四輛 二二等率正に

一回の管測だけで

樂觀はまだ早

文無しで動きのこれぬ期成

機構改革が先次

下岐川の長地江腹配事務所は兼都 所長の玉置正治氏が京城常駐のた **培事祭とタイアップの高地開墾民**

外山二段となって90、推開標 |五學三十八錢、六寶里二十八鐘

長津江水電八百餘の社員

能技を加へることになってゐたが

鳥二千町北に御豊して増進をはか は家島投稿として重要なる距隔の 作け反別を豫定計畫の二倍即ち一 問題所政政策に顧問、先つ本年度一の象想では平均等統四等品と子

あげることが出来、最高官三十 プラムで六十六回五十歳の收益

研範門を開発したボップを一躍大 との関係さへよければ整成現金 心一方、高地僧の特用作物と 雙層雕製 压约五萬八千國と見达| 真綿チョッキ

熱心に製作

にはり成中感。とにかる上に成に流洲機働の野神。 関く有力者を制権し、相等の負担別が典認・国 適子べきであるが、本総道の便趙。 嫂々有力者を制権し、相等の負担の財権構造改めて、

運動の足並ぐを腕へるとか…っさ

を求めるとか、取日本と提擇して一

を発出して生命数の数件温動

おしの一手 判官手古摺る

業者の原発地差り等一切の変動物 る時兵へが削として直線チョツキビとなり変動手機、概続続続、き一前東骨を伸す第二級で飛機してるかして道地方線の水準正権氏が主 物で刺し即死せしめたが殺人犯で られてから俄然壁となり去る七百 通じて減り、嘘でおし道した約

はず一心前的て製作中である(毎 紫として放映後も居地り寒さも形 を認るべく宮町公立普通學校附屬 を依頼したが女生徒時はこれを光

子郡内各地を巡回し紙芝居を行 は時局跟議を敵域をしめるため 時局(紙)芝居 【永川】部

に活動するはずで何氏は打食せ

然らずば低壁を抜つてゐるのか、 級男決院では近く精神確定を行ひ ほんたうに歌のやうでございます 先日明さましたレオン機能クリ

一部で居りました肌が、わ のを一節、

都台「図る送り下さい

けたやうな美しい肌になるのと同 温泉に気永く使つてあれば必ずる

べくした触自な大理石を磨き上

保存に限避なコロイド硫質を多置し無由ですの最近更にこの極めて

Bigistot 間面・開 ことですから、大阪一筒 ことですから、大阪一筒

一てゐる方々が、傾く少量ではある 及び小館等色々の酸いものが出来

皮質面にニキビ、シミ、吹出物 れは丁度人並以上色の思い方

がコロイド硫黄を含んである硫酸

本良江

新設の許可申請が殺動してあるが他の製造業者から事業の個限又は

| 自動を第五度が上二度とまでつり | みは相常説動を締めてをり、|| 夫不足により微楽大斗様一本の荷 | 燃料の基礎など、各製造業者の

上げられ、空職は低車館給離及び、水車傾合、東金金温機・同常の味ぎ、を映画品として二百鐘鑑した場別設め五銭が十二鐘にまでつり、入は相常度別を極めてたり、一方から出版したり士には概字ョ

面要源の裏には大漁の悩みがか

環境の山をだし、かてゝ加へて人一のが一郎四十五道に訛ね上り更に「歳の概みといへようこだれてゐる、即ち各総酷場には「かこの如きも怨來最高出二銭のも「の回収に困難を來すだとまさ」

のものが五十級に品味、また荷揚

つっては、そこにない、こことのおり、また返行のできた。 本のでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、

義理を缺くな

精神作興に本末轉倒大禁物

記見を取出したが、窓外この見は 大條件では折角関節しても積無局 、 缺の既然は強と困避らぬ、振うし

下のお茶代り」で今年はさつばり

令市は今年別艦を見合せることに

とうしょ……他でしたようことは、る廿日県軍数問念として歌納した【裁判】文非事題の関係で咸興票。その利益を誘用して四四五穀を表

品が聯か内ところへ要令市に不可

歴院の成田博士の執力で施術、

- これは満洲の話

ガキの節約から

先日爺のところへ寄りましたらて居ります。 はにまさるものとなく感形がししらよろしく

くお飲り頭きたう在しまなが、喉や

失ぬとします。

チフス蔓延 平北に四十名

酷い色黒顔も白く 吹出物もとれ

艶肌に

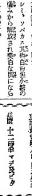
れるのです。

が認識になりました。だ時に切しいつのまにかり取どりもずつと職 文集日の夜コールドクリームをく思つて思ります。 のが不知識に動かなめらかになり ずつと院配や大浴場と便服して つけて解みましたがよく拭きとれ 別ばかり歌に食動よりレオンボーつた晩野動が多し概を駆したまり満然に翻翻甲上げます。私は二 ますと二三日後にはあれほと地か すので配と観聴甲上げてよいかわ から美しくなつてゆきまれなくなりつつあります きひました。谷はその 田宮子 をのものが既に帯 御税知の超く体税

されてるますが、更に之が満世のか質頻繁や指性戦々の方面に翻出 作ってこれを人の肌」 5番単知の上都利用下さい。 LTつ 芸な駅作用がな

シミ・ソバカス其他自初焦小館の 低は勿論、世界、脂類、ニキビ

「レオン洗剤タリー人は東 京 市静 田国小川 町寺・丁吉 技式会社レオン 現代(投替東京八八一番)から 奴貨されているとすが、200 大ばかりの 効力の 磁い型的を差上げたいと 扱ひ出すが、局での品受 に字数がか 会先へ御申込になれば 内地 に限り取 圓萬拾貳百七億壹金本資 **一段 利** 店支城京 ドロエー通門大南 市阪大・店





| 中田屋商店釀造部 | Wantermannent and Management and Ma | 株式會社林兼商店 | #################################### | 朝鮮燐寸株式會社 | 包心仲立組合 木村為一郎 | 世界朱安 住用朱安 住用朱安 | ************************************ | 曳網漁業水產組合 |
|--|---|---------------|--------------------------------------|---------------|--|---------------------------------|--|---|
| 在 藤州州醫 院 电新文字 | に | 安河内 简店 | 在 | 仁川質屋組合 | 「 | 京仁トラツク京仁トラツク 中国 管 薬 所 に 周 管 薬 所 | 在 | 仁川木材商組合 |
| \$P\$ | 森信運輸營配 上田文次郎 | 仁用港町 | · 製料 | | 朝鮮中央 | 本 | 表 | on 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 |
| 世界 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 対理イリン元 で開発で表 で開発で表 高 番 宜 耶 | € = / | 朝鮮證券金融 仁川支店 | 電部長七六八 | 朝鮮中央無盡醬 | | 上野進一郎 上野地一郎 上野地一郎 | 仁川葬鎌 社 |
| 世所被 久 米 商 會 | | | 在川穴門 梶谷 | 協朝同 | 慶大高 朝朝 鮮鮮 杉郵 連 | | | |
| 松屋吳服店 | | 作 康 衛 | 梶谷寫眞場 | 海運商會組 | 度 期鮮運送仁川支店 朝鮮郵船仁川出張所 和 酒 部 和 組 | | 四月 九門 年 九門 | # 田 常 博 # # # # # # # # # # # # # # # # # # |
| 仁 川 工 場 | 京畿道立北灣院 中 阿 | 景 渡 邊 政 喜 | 在無事 安配人 中 島 茂 | 蘇莉鮮製鋼所 | 石黑陽 | Pバケツ工場 電話二次 | 上川府會議員 | 一宮鐵工所 |
| 北川本町嶋 | い の の の の の の の の の の の の の | 合 | 組廓 | 遊島松丸 | 敷川大常 | 仁人 | 作为 大學學院 维 | 深見 襲 |
| 電話 楽 | 在 | 二三樓 | | 樓畫樓 | 電話 樓 樓 | 電話 大二 (いろは順) | 電 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 深見寅市 |

て脚和しろ!」

例を行く時後の中によれてのに

戦極二百里、七月から十一

から類草を上げようした。 新聞記者時、こんどは此方 ち間草の嵌水だっオーイ、

恨の慰問袋

慰さの興味で飛び起きるこ

んでも残さには負けだ

が、東受局があつたので終

の程水の中に岩壁が頂じつ代は、初ると種分が浮き上 多くなった。色々と調べ るるやうだ、だから石の 見ると水なのだ、ことの

程度であるが、朝夕はグーりチト郷いかなあ、といよはない、中島京姫の郷さよ

はない、中島京城の郷さよけに郷きが願いだらうと題けに郷きが願いだらうと題はれるが、さ種は中は郷く の西といふ脚で山西省と名山脈の西にある、だから山 借衣の將校



なにかを着込んで達むさん な、聴敗の下にジャケッや な、悪敗の下にジャケッや

いてゐる兵隊さんが間分多度はすり切れて支那靴をは

まねといふ兵士、吸殻を拾 を切らして【週間掲草をの い、徹次に率るまでは原草 つかないのだ こるるが、徐りに違い進い

はどこの信答でも大抵ラ 命より蠟燭

に特技の放棄をつけた異様。あるかと思ふと、具の多限

のやうになってみるものが

となってある。競争し常に

月二十二日第一回公判を開延以来||脅かし、果ては鬱災で取つてある

骨の結果何れも有品権刑の求刑を

裁判史上の世界的記録を作り、

を重れること二百六十五回と、「的影響があるから、同正子鏡を出る人用十一日五日間に互る大論(東大門第三紀人は歌楽した、目下の人用・一日五日間に互る大論(東大門第三紀人族歌手した、目下

中心に判決文作成中のところが

命の次の様に大切にする、 ると光は夜の間である。北思は如が、光のない詞に来 は光を大切なものゝやうに なのだ、光に慣れた文化人 これがなくては一寸先に配

京を出て私達は一度も電蛇真を出て私達は一度も電蛇 の御記分になったことにな ればこそ。療法には電気は 原稿を替くのもランプ

京城中部町四三本明像の要摘氏(*)人として身元川食から化の皮があ 實は賣る疎膽

日までに一貫「手間に達した、

分の戦女にするとか、良気の女中共組氏の長女採明粉さん。こと自 運動を起した、全鮮二十人刑務所 の数据を異へ受刑者遠江軍婦以来 に題まつた歌巻の戦争は十一月末 作業時間の延長を願って国際戦争 作業時間を延ばし

江原道的平邑内の酌略に夏飛ばさ に世話するとかで競び出し数日前

氏は強て脱糠酸を削り総合質代官

た受刑者墨の選集【英一千町を占

和仁元大審院長

三男に生れ明治サ七星東大法科院七時学歴史した、享年大平人

町の自邸で搬撃中のところ三日半

に治したい

方に無代進星

防寒の御用意!

お茶は本五清元園

本質量型型

エンドー紳士服店への内に神経文を選出御神服職は今の内に神経文

京県が古市町四三 吉県住民国の海条で全市します。

黎品回鄉民

から海民館に放て金蝉火甕商風帯しひ六時投資から海民館に放て金蝉火甕商風帯して六時投資

慌て娼妓大怪我

改造春丹春さんでとは、「可憐に向け歸る途中、府内竹部町で眺ころ京城湖出町水「京殿」自動車「都タクシーに乗つて 自動車屋を収調べ中

際、同自動車の機関部が「大番螺筒配エタカ温泉前に着しか」つた

けて概化の重傷を負ひ附近の頻度 と共に酸火したのに離ぎ、ドアを **酸酸研究所を見事、更に午後四時**

諸様の打合せ、巨行つた後弘潔里の一甲、乙穀者の開帯なる政 から府民館で總倉を聞き院夏並に一倉を開催し、精環者の来席を求

総額なんと一萬餘圓

小女子大學校熟

資家 是如源是五歲

一三、ナレス 電電一四、電車一四、電車ス型共三、フン 京城府領書町一六五 林 桑 財前系道二百三十八坪 **青地** 京城将第三南町公厕 联群交通二百三十八坪

長衛空司あり

新 夏 寶 山葉ピアノ 中駅 30 駅

F

宿類微

斯標西大門署ではこのやうな大る

お子様のために

是非一台を!

事

为夕口芝州北

オルガン金二十八回上 ビアノ金五百九十回より

京城に住む大地主の細君

邪戀の生活を清算

B

森採

歲末贈答品內地無賃輸送等

州

ihi Ű jij 黄州果樹園(織)(第一)

贵

用本位

別々深まり後しくなつて行く、此時も時、永く日本に住か日本の文化と風物人情とに跳い理解と心か ディゴーグや老獪なジョンブルの傀儡に躍る世界の排目屋に是非とも紹かせてやり度い 弘大歌師主は二日内跡省事保局に続いて路化手鎖さの打合せを行つたが近く路域のよいよくとして人会は現在域大線科の調師以・H・プライズ氏(ざ)だ、即ち民の依頼で東上した改統真用所三四章 らな情報を抱いてるた一英國人が意を挟して戦国の國籍を睡眠し日本に弱化を頭ひ出るといふ支那の に正式に耐化額ひの手間含むとることにたった(名詞にプライズ氏)

行方不明

ローブが切断

城大豫科の講師プライズ氏

辯護士を介し願出づ

新判所刑事が一號大法にに於て判

◆十六日午前八時東京所事业古 機能開始以來三年八ヶ月振りで

京仁トラツクの営業係社員

頭部内出血甚しく虫の息

降りの現場。

り自殺を企

枝形は草の腹死者の遺化は三日

よると在ハワイ那人の関語戦争は 渡られて上出、直ちに宇品に向ひ 同地で想否を受けた上、加納形像 たが、四日午前十時廿五分殿女に 新成丸は損者に努めたが機将不足

職、三市九は行方不明となつた、南韓列張と青島の間でローブが切

を 曳続して去る 一日 条南大成島 は重視タンク船三市丸(二二トン) **社権の第六機
新成丸で
一六トン)**

|花は境球の選手として原風の花||少女來島立子さんといふよき傾約

既に六十萬郡に遠してみる

加納部隊長ら

カレッチの田身、歴生 ロマソスで結ばれた後しい日本の

取数を集めてゐたが日本の招世」い眼を除いてプライス氏の孔では |東洋の断器に埋まらなく心を | すつかり美しい日本の民土に化せ

ありまた個人としても仲間一者も得た、今はたと初色の動と語

ライズ氏にロンドンのユニヴァ

間に日本語は無論上手になつた

二のモラエス成は小泉八嶽として

ら好きになる、俳句も解れ 一氏の際化質現を望んでもつ なぜ歸化するか

「東京北話」元敬相三土忠遠、元 くる帝人事件は東京刑事地方認利

もかも驚きの種

百萬圓の種明し

落成した。朝鮮

ピル

物形事が引摘へ取調べたところ

でうるつく怪しい青年を本町場有 二日午後九時ごろ京城臺萊橋附近 | 明した 豫審以來三年八ケ月目

一局久英吉等丁六名にか一所第一部展井裁判長保で一時年六

ブライズ氏 心境を語る

對するひたむさな愛信とがから

させたことだとしか申上げられ

四日ハワイの日布時事前接が加せる。四日ハワイの日布時事前接が加せるからのが、「対策に帰える赤湖に対策に近なく

○……貞野二百萬間を投じ昨年五 一場の

◇……衛生設備も至れり進せりで一つな紙をなしてある。六階以上の一月十四日午前三時北米倉町一四酒

つの大 | ム時計六額をはづし取つた外十一

てゐる六名の女輪の謎からクロー

十馬力、体配の時候備デイゼルが | 質に一千名近くで郵便局もあり、

今次事製によって海外日本人の配

布哇から献金

舊部下

それからずつと砂概をとる傍一ものであり氏の時人としての秀れ れてのる失先個々城大の招聘しられ英国に見失った確の故郷を日

帝人事件結審

は午後等時三十分、他の節節は同

三日午後四時ころ京城明倫町三の

| 「一人支那パン即命参条費である。 「一方の数十五分、万京被曹(単七八三)」であたりを軽減で換り、要のほか、「一つ教育など、「一年の数十五分、万京被曹(単七八三)」であたりを軽減で換り、要のほか、「一つ教育など、日本の「一日午後四時、万京被明徹町三の、大門道五京にトラック会社(「三」であたりを軽減で換り、要のほか、「一つ教育など、上川の「一個教育で日)」、「一日の教育など、上川の「一個教育で日)」、「一日の教育など、「一日の教育など、「一日の教育など、「一日の教育など、「一日の教育など、「 低警官の詐欺

かないちゃないか、検束する々と、ラック性受視事件具勢町二十七杯。校を企てた原础は不明、家庭には、育芸り得たりな前で添いに消滅器。自動を全てた男があった、京仁ト」と平常と盛ら了接続してるた。自 登袋の者だがお前の家には消滅器

自教を企てた男があった、京仁ト 四十歳位の浄凪男が助れる倦は一ら凍てついた暗脳の路上に飛躍り一篇、根氏は常田で死の直前返回像

「曾社の話」は両日な男で

世であるが栄さくは以前同家に営かるのらと、『霊ガスに野地路神主であるが栄さくは以前同家に営かるのたと、別様は別、住所不定社永依に、 1 一直の 1 一直 あつた。銀狐の機管、金時計ルビを持つてるる。といる意味の尊留あった。銀狐の機管、金時計ルビを持つてるる。といる意味の奪きの水るの を持つてゐる」といふ意味の實質

町三の鑑道ガード下総道紛略に投 に男残でに 『この世の遺たらの態の四日年後一時十五分』の京姫竹都 ゐたもので騰中には男の賞賞と共 に男宛てに「この世の遺ならの際

でい」と二把の自薬を置いて立てれを備さまにお供へして下 五名の見加が穀砂石の宅を訪れ と、その目の午後四、 傷心の岩田さんは、 -- といつたの

平田君でと感覚開保に取ちて

うろつく男は

忍込み専門の賊

原君の死を耳にすると直く之し 一との感心な見歌たちは、

が十二十十三の子供では一寸日

平地文書戦争卓地でが呼びとめ間 べると、住所不定得明得いざで報 三日夜京城太平通を洋服和を抱へ て通行中の半島青年を巡回中の太 欺いて持出す 旅館荒しの男

爾印

質優秀

面積200町步 栽培 50万貫 額

大きな寒で花田の田鼻を抑へた。 年前大畦五五分 ニュース大きな寒で花田の田鼻を抑へた。 同八時一〇分 (大) ラデオ日本島思つたからこと源事を思ひ留まつ 同九時二〇分 (大) ラデオ日本島思へたたららうさらすると、葉の物 物 (十二回) タ 大阪・ 『服さない。鑑なんでものは一體 うとしたのは、おい、策士、ちと だから、それには及ばないと云 『田て来たまへと云つたら、田て にるが、それで差支ないのか。L できってると、花田、をかしたこ **の精神とやらを振したことになる** はせて突め立ち上つたと思ふと、 らない策の議議なんかに服す義 君は紫磯に服さないのか。 たがらもう一度云つた。 花田が、田で來べき位配を指さ 悪事を思ひ留まらした方が、黛 してかくの如した。 やせら笑つて、優非は動かりと 君も、段略に於て、氣の精神を を触したのはどつちだ?」 突然、櫻井はみんなをハッと思 機井は、相手を小馬鹿にしたや を持つた。こ 同一時一〇分(大)海外市況 (登記中断) エチ(東)時報 エース (東)時報 は、康順と避つて、何も悪事を餓 一前の野心の後性にされるかも知れ は、あべこでにお前の方だつたた だい 與へてゐるやうなものだ。職はな んと云ふに至つては、蘇に武器を 「それどころか、悪事を働いたの いてゐないんでなる 施まで、お前の野心の餌食にしよ まあ仕方があるまい。

什んじてお **ふるから、鉄拳の観器位業けても** 名曲定期演奏第二十四回) つてかつり 「が、続けざまに、目の上の節の 「財頭自身は狭しいことを願いて 第一放送 島 政 [111] 田 同六時 同一時五〇分(年) 狂音 回四苺ニュース(珠鬼亚洋・鈴山・青井) 二型(宋京)嗚呼銷世通州城。同二時二〇分(宋"大)青年浪北征佐藤樹僧之語 思、一九、鯉丈の作品のうち、最 文學の互匠とくらべても返色のな 同七時四五分(大)日曜特؋ニュー、吳帝兵陳を歌へる 外四型 増卸・樂長 山田 ・ 築 同七時 ニュース・天氣見込 |することになり、常代職一の賠償「ドの市場」といつて、「八四七年」 | 宮内投撃し、名作物器として放送 | 『アルタ』は別名を『リッチモン い程すぐれた作品を残してゐる。 多の名作を生んだが、中にも三島、 四六時三〇分 応報ニュー も優れたものを一部づつ選んで 四、スラヴ舞曲 一九、鯉丈の如きは、西歐の懸決 モラスな遠は、徳川郷に入つてい こそ、この明るく眺かな一面を思 二、「八島」の間三良語り之内一、鳴子 、頭かな一面を持つてゐる。 岩戸 この度、AKでは五日から、三 (大阪) 赤垣湖藏徳利の別 頭に通夜したと平家物語に 武神として武門の故信厚い 伴奏 日の丸管絃樂 鄅 文化の顕著と相関つて数 官熊大社建部呼赴は日本 呈威宣揚祈願 繪 大らかな笑ひ 建部神社より中機 奥へす、この難は正に好職光媒で 貫きことになった あった。本日の黒七十六以下七十 変もけるのこの第二十四回で終る 川 朝橋訓話 深い御社に於て戦かに息い 昨日の白七十五は黒に上十七を 宣播武運長久の新数祭が鼓 一、歌駒「マルタ」 窓 部高 段八木荒 霞詞 平道 棋選 電大船 男師 本正 7 考圖併觀 酷評無鐵砲 覆面道人 夢 白七十五上り黒九十迄 燃 前八年三〇分の 自からざる影響の指案となるわけ大までの選びとなって、黒には面 ける一であるとすると、それ以下 である (中) ヶ餅溜場の内館・ (中) ヶ餅溜場の内館・ カ世紀ドイツ復樹語の作戦家であ「重務・異常』と呼ばれている作品 大、ご普勢さんよ、それでして、カ世紀ドイツ復樹語の作戦家であ「重務・異常』と呼ばれている作品 大、ご普勢さんよ、それでして、カナルランドの民職『夏の神経』)の主義が現在ドイツ関歌になって、ある なる歌劇で作脈着プロートーは十にヴィーンで初遊された四幕から これを要するに、器帯側の如く 黑髪を心から生かす 华 三、皇帝讃歌に依る極楽曲で 城同等に拠られ、黒に悪い、黒七 り、黒に面白からざる優化が起つ 力騒い無分は奈郎を一貫して流れ 家ワルドトイワエルの『エストウ ディアンティアーとともに有名な シュトラウスとならぶ国郷曲の大 作度する人に排げる心排をつたへ 「「四舞曲「美の極み」 すぎ つとり にお召物のまゝ洗 と艶 お母さん、今白も傲等にしてくれで、お父さん、ラデオを聞いて、全日本號の、お手招は、新聞組ん 胡椒するところの一手なのだ。 ば無難砲と云はざるを得ない。即 在り、明かに黒優勢と云ふ次第の ち白八十一に應じた八十四は、黒 の白(ろ)と黒九十以下の攻撃 万の味方を盛化して有利である。 ので此院技じたもの、即ち、明日 s.無(い)でつまら以場合もある かなど情しい要點を占めることと し又自七十七と七十九の中間を窺 一以下八十四までの應手は寛に苦 い。これを黒八十の時、白八十 イったのもしい翼 少年少女 鼠に乗つた開拓 獨唱大會 攻撃への關聯 きが早く これからの御洗髪にこそ 花王シャン ブーの良さが へるやらに (場内) 敬三作問 やかになります 青年扶う宮原園 島天桑の林藤郡 職地へ行つてるお兄さま 中、弟の手紙 一大些內地面行 日前些新非日路 (明線)、滿線主要第三战? 船車寫路 秦内所 京城二中井 安果大和**楼** 查 鳴谷汽船縣出机 ハ、兵隊さん 大阪商船株式會社 東 城 支 店 城 支 店 はつきりわかります 数 用 信夫作曲 ○ 夾數國漢地歷 震襲 榮養菓子 羅羅

垬成

「馬鹿、下海な精神をするなる」

回一ちな髪本日 回二らな方女少・袰洋

個

阪大·會商瀨長社會式株鹼石王花·京東

五

明海 九十二月十四日明海 九十二月十四日

日本市北十二月二十日 日本市北 十二月十十日 下海 丸 十二月十七日 日本、北海道、禄太行 日本公元(各地公元)

木油出机 代理店日鮮高速田子木油出机 代理店日鮮高速日子四日

代理は、國際運輸支店

爾 社会式株型リグ (仮大・放東) 歴

1

P

オマケガデル

タフガ デキルクミタテルト